

西東京市市民協働推進センター（西東京市からの受託事業）

西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、開設された平成21年3月より西東京市社会福祉協議会が受託して運営している。（毎日10時～19時開館で毎週日曜日および年末年始は閉館。）平成28年度は、第3期開始（27年度～）に当たって検討した広報戦略など事業運営の方針に従い、5年振りとなるホームページのリニューアルを行ってアクセス数を倍増するなど広報・PR事業面で強化を図った。

また、「つながる」ことを重点とした事業展開と裾野の拡大を目指したセンターの運営を行った。その結果、重点事業として取り組んできた多者協働を目指した「まちづくり円卓会議」の一層の定着化を図ることができ、市民活動に関心・参加意欲をもつ「おとば&ゆめこらぼミディ」メンバーの形成とおとば&ミディサロンの定例化を図ることができた。

「NPO・市民フェスティバル」は昨年に引き続きアスタセンターコートで開催、1,400人近い市民の方に市民活動を紹介することができ、西東京ボランティア・市民活動センターとも連携した試みを実施し、今後の協働に向けた一步を踏み出すことができた。

事業	当初計画	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
【重点事業】 広報・PR事業	センターの役割や機能、活動内容を広報・PRしてセンターに対する市民活動団体、市民の認知度向上及び利用者の増加を図る。 <上半期> ○ホームページリニューアルの実施 <通年> ○機関紙の発行 ○利用促進事業 ○広報戦略の実施	<p>① ホームページリニューアル ホームページリニューアル内容を検討、公募により委託業者を選定。委託業者とともに詳細内容を詰めて、リニューアル作業を実施、検収を終了、10月1日開設を完了。</p> <p>② 機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 センター主催イベントの告知と報告、センター登録団体の活動紹介（今期18団体、通算 94団体）などを掲載。（4・6・8・10・12・2月発行、995部/月）</p> <p>③ 利用促進事業 おとば&ミディサロン、ITコラボ勉強会を毎月ゆめこらぼサロンコーナーで開催し、一般市民の利用を促進。</p> <p>④ 広報戦略の実施 昨年度検討した広報戦略にもとづいて、統一ロゴやキャッチコピーを採用して機関紙やホームページ、オフィスの案内を変更。</p>	<p>① ホームページリニューアル ホームページを5年ぶりに予定通り10月1日にリニューアルした。 リニューアル内容も親しみ易く、利用者視点に沿ったものに仕上がり、新しいロゴの採用によるデザインの一変、新たなコンテンツの追加充実、SNSとの連携等、最近のITの普及への対応を行った。その結果、リニューアル後のアクセス数は以前の2倍に増加した。 ホームページリニューアルを機関紙の一面記事に載せ周知を図った。</p> <p>② 機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 機関紙「ゆめこらぼ通信」の作成では、活動紹介紙面に採り上げ難かった団体に対し、定例会でのインタビューを行って記事にして紹介することで団体の広報・PRに一役かった。</p> <p>③ 利用促進事業 利用促進事業においては、月1回の定期開催が参加者に定着し、一般市民への認知度や利用向上となった。</p> <p>④ 広報戦略の実施 施設の表示、ゆめこらぼ通信等の各種発行物、のぼり等を統一ロゴやキャッチコピーで統一した。</p>

事業	当初計画	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を集約・発信して、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図る。</p> <p><通年> ○市民活動に関する情報収集 ○ホームページ等ITによる情報提供</p>	<p>① 市民活動に関する情報収集 新たに調布市が加わり、近隣7市での情報連絡会※となった。ゆめこらぼが幹事で「新年度の進め方と取組み」(4/15)、小平市あすぴあが幹事で「今年気がついたNPOの新しい動き」(12/14)をテーマに情報交換。</p> <p>日本NPOセンター主催のCEO会議に参加(4/16・17、7/30・31、1/26・27)し、中間支援センター調査状況、休眠預金活用法検討状況等の情報を収集。</p> <p>※小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市と西東京市の6市の中間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p> <p>② ホームページ等ITによる情報提供 発信したイベント情報数は、637。アクセス数(訪問者数)は、29,668。月間平均アクセス数(ユニーク訪問者数)は、約2,500であった。(随時(ほぼ毎日)情報提供) 新たに、団体のパンフレット、機関紙をホームページで紹介するようにした。</p>	<p>① 市民活動に関する情報収集 災害時の中間支援センターの対応や休眠預金活用法検討状況等の全国レベルの情報を収集できた。</p> <p>② ホームページ等 ITによる情報提供 ホームページ開設以降、月間平均アクセス数は平成23年度、平成24年度は約500であったが、イベント掲載などホームページの更新を頻繁に行った結果、平成25年度、平成26年度は約1,000、平成27年度は約1,700、今年度はリニューアルを契機に内容を充実させ約2,500(リニューアル後は約3,200)とアクセス数を以前に比べ倍増させることができた。</p>
<p>相談事業</p>	<p>市民活動に関する一般的な相談、団体の設立や運営等の専門的な相談を基本的な事業として行い、市民活動を支えるセンターとしての役割を担う。</p> <p><通年> ○通常相談業務 ○出前相談業務</p>	<p>① 通常相談業務 センター登録団体数159団体、メールボックス利用84団体、来訪団体1,473団体、2,078人、来訪個人283人で相談件数75件</p> <p>② 出前相談業務 NPO・市民フェスティバルで相談窓口を設けて対応。3件の相談を受けた。</p>	<p>① 通常相談業務 相談件数が昨年度並みの月平均6~7件の相談となっている。相談内容は単なる情報収集に対応するものから登録団体へつながり相談が増えた。</p> <p>過去の相談記録や全国の中間支援組織の事例を参考にスタッフが相談対応を行うための相談ツール(Q&A集)を作成した。</p>

事業	当初計画	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>人材、 【団体 重点 事業】 研修 事業</p>	<p>市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識の習得、市民活動団体等の立ち上げに向けた支援・育成、協働を推進するための意識啓発を行い、市民活動の人材、団体の育成を図る。 <通年> ○ゆめサロンの開催 (年3～4回) ○講座セミナーの開催 (年2～3回)</p>	<p>① ゆめサロン 市民の地域デビューを支援するため定期的におとば&ミディサロンを開催(全12回)した。 ○地域活動紹介ゆめサロンの開催 ・第1回「まちめぐり保谷地区」を開催、市民活動団体の拠点6箇所を訪問、12団体の活動紹介を実施 {5/21(22人)} ・第2回「まちめぐり西部地区」を開催、市民活動団体の拠点5箇所を訪問、8団体の活動紹介を実施 {10/15 (13人)} ○地域デビュー交流会を開催 料理作りを通して地域活動への理解や参加者同士の交流を深める地域デビュー交流会を開催 {3/18 (10人)} ② 講座・セミナー ITを使った協働やNPO支援を行なうためのITコラボ勉強会やITコラボ講座の実施と団体の情報発信力の向上を目指したNPOパワーアップ講座を開催した。 ○ITコラボ勉強会 {(4/23(5人)、5/28(2人)、6/18(2人)、7/30(5人)、9/24(7人)、10/22(4人)、11/26(4人)、12/17(3人)、3/25(4人)} ○ITコラボ講座「ITによる新しい出産準備について学ぼう！」{8/27(13人)} ○NPOパワーアップ講座「プロのノウハウ教えます～多くの人に知ってもらうには～」{2/25(12人)}</p>	<p>① ゆめサロン 昨年度継続的に開催した地域デビューシリーズの参加者と新規参加者で定期的なおとば&ミディサロンを開催。その結果、参加者が積極的かつ主体性を持って活動に参加する傾向にある。また、おとば&ミディサロンのメンバーから自発的に市民活動に参加しゆめこらぼの事業にもボランティアとして関わるようになった。 NPO・市民フェスティバルの実行委員会におとば&ミディサロンのメンバーも加わり積極的に意見交換を行っている。 ② 講座・セミナー ITコラボ勉強会、ITコラボ講座については、団体のIT利用を支援する方向で今後とも継続的に取り組んでいく必要がある。 NPOパワーアップ講座は、団体の情報発信力の強化のための講座を開催、好評を得た。今後は情報発信力以外にも団体の求める講座・セミナーを実施する必要がある。</p>

事業	当初計画	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【重点事業】 地域連携促進事業</p>	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、大学等の学校、市等の公共機関が相互に交流、連携、協働するためのコーディネートを行い、様々な関係者の「つながり」による地域連携の促進を図る。</p>	<p>① まちづくり円卓会議 柳沢公民館のチャレンジ講座「いきいき超高齢社会～西東京市でピンチをチャンスに変えよう」と連携し、共催でまちづくり円卓会議「70歳代からの地域デビューを考える」を2回開催した。また、その間で会議メンバーによる事前会議を行い、方向性のすり合わせを行った。{11/3(メンバー8人、参観者45人)、12/6(メンバー8人)、1/28(メンバー8人、参観者39人)} 終了後も平成29年度の継続に向けた話し合い{3/23(11人)}を行っている。</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ 講演とワークショップの2部構成で「災害が起きた時、西東京市で何ができるか話し合おう！」について事例を交えて、参加した市民、団体、行政等様々な立場からアイデア出しを行い、全体でグループごとの発表を行い共有した。{7/19(市民・団体:33人、行政職員:29人)}</p> <p>③ 地域連携推進(ひまわり)事業 6月から10月にかけてひまわりの種まきから収穫までの作業を通して食や環境学習を市民とともにいった。8月のひまわり迷路の公開では4,814人の参加者があった。(ひまわり迷路公開:8/16～8/26)</p> <p>④ NPO・市民フェスティバル 8回の実行委員会を開催、企画を検討、事前説明会を開催した上で、1月21日、22日に「第8回NPO・市民フェスティバル～楽しくやろう！仲間づくりと地域の活動！！～」を開催した。68団体の参加と1,337人が来場した。参加者の交流を深めるため、NPO交流会を開催{1/28(26団体・39人、実行委員12人)}</p>	<p>① まちづくり円卓会議 平成24年度から重点事業として取り組みを介したまちづくり円卓会議では、「障がいのある人もない人も分けない居場所づくり」「子どもの声に向き合うために」をテーマに開催、それをきっかけに生まれた活動のフォローを続けた。 今年度は事前・事後を含めて4回の会議を実施した。「70歳代からの地域デビュー」を課題とした解決策の提案に対して意見交換し、期間限定でプロジェクト的に動き出す方向性を共有した。</p> <p>② 協働のまちづくり ワークショップ 昨年度から「協働のまちづくりワークショップ」として、従来の「啓発の場」や「交流の場」から一歩進められる「協働のきっかけの場」になるよう企画、開催している。今後重要となる多者協働について実例を踏まえて行政職員との議論を進めることができ、有意義な企画となった。</p> <p>③ 地域連携推進 (ひまわり)事業 ひまわり事業では、天候不順や公開日数の短縮のため昨年度に比べ来場者は減少した。天候不良の影響は大きくひまわりの種は収穫に至らず昨年度の種を利用しての搾油体験となった。東大農場が大規模工事のため次年度以降のひまわり事業は中止が決定した。</p> <p>④ NPO・市民フェスティバル NPO・市民フェスティバルは一般市民の参加を増やすため、今年度も会場をアスタセンターコートにて開催。昨年度より多くの参加者を集めることに成功した。 おとばミディツアー参加者と団体との交流、団体間の交流も含めたNPO交流会を実行委員会主催で開催。今後も一般市民へのアピールを継続し、より一層の市民の参加や市民活動への理解を進める必要がある。</p>

事業	当初計画	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>地域連携促進事業 【重点事業】</p>		<p>⑤ 地域コミュニティ 支援施策への協力事業 昨年度発足した南部地域協力ネットワークの総会、定例会（4月～9月、ほぼ隔月開催）に参加。</p> <p>⑥ 市民・地縁組織との交流事業 避難所運営協議会等の依頼に応じて避難所運営ゲームを12回実施した。{4/14(95人)、5/21(48人)、6/18(30人)、7/21(25人)、8/21(28人)、9/10(20人)、10/8(33人)、10/8(6人)、10/19(21人)、12/10(25人)、1/12(28人)、1/26(21人)}</p>	<p>⑤ 地域コミュニティ 支援施策への協力事業 南部地域協力ネットワークの総会、定例会）に参加し情報提供するとともに役員（会計）を務めた。</p> <p>⑥ 市民・地縁組織との交流事業 避難所運営ゲームに関しては参加者から一度は経験して欲しい等の意見が多く災害に対する意識が向上している。今後も依頼があれば協力していく。</p>
<p>施設の提供及びその他事業</p>	<p>施設や機材の提供を行い、市民活動を支えることでセンターの利用者の増加を図る。</p>	<p>○サロンスペースの提供 (登録団体数：159団体、来訪者数：2,361人、サロンスペース：325人)</p> <p>○機材の提供 (コピー機：47件、印刷機：269件、紙折り機・裁断機：58件、ラミネーター：37件、AV機材：42件)</p> <p>○登録団体に対し、メールボックス（私書箱）の提供(84函、220件)</p> <p>○NPO法人・市民活動団体実態調査</p>	<p>ラミネートフィルムの販売を開始したことにより利用者が増加傾向にある。 ホームページで紹介している機材等を見ての問合せがあり、一般市民の利用者が訪れることが以前に比べ増えている。 3年毎に実施しているNPO法人・市民活動実態調査を実施し、把握した団体の課題やゆめこらぼに対する要望を今後の事業運営に反映していく。</p>
<p>運営及び維持管理</p>	<p>市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。</p>	<p>○運営委員会の開催 {4/19(9人)、5/17(13人)、6/21(10人)、7/19(11人)、9/20(8人)、10/18(11人)、11/15(9人)、12/20(10人)、1/17(10人)、2/21(13人)、3/21(13人)}</p> <p>○研修会への参加 {4/21、5/19、7/8、7/13、7/23、9/6、9/7、9/13、11/22、11/23、1/13、1/17、1/24、1/26、1/27、2/15、2/17、2/28(各1人)}</p> <p>○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理（常時）</p>	<p>西東京ボランティア・市民活動センター（以下、ボラセン）との連携を図るため、ボラセンと話し合いを進めてきた。今年度は、主要目的であるNPO・市民フェスティバルのボラセンとの共催は難しいが、ボラセンのブースを設けることで来年度以降につなげることを目指している。</p>